



福岡県小郡市大板井1143-1

電話番号 0942-72-7221

FAX 0942-72-7222

# そら

発行人

こぐま福祉会  
「そら」編集委員会



<http://www.koguma.ed.jp>



かてん きもちいいよ～  
(くわがたグループ)



令和4年度 7月  
ゆう・はぐ・しろくま 夏のあそび



えのぐであそんだよ～  
(ひまわりグループ)





心の窓



生活介護事業所 愛らんど 智成さん

智成は、難治性のでんかん「ウエスト症候群」です。約50%が発作を止めるのが難しい「レノックス症候群」に移行すると言われてはや20年が過ぎ、今のところお薬の調整はあるもののおちついていません。この病気が判明して脳波をとり、スパイクがびっしり出て、用紙が真っ黒になるほど発作が起きて、そのせいで笑うことも泣くことも出来なかつたと気づかされました。

6週間の入院を経て、こぐま学園に2年、コアラ園に3年通い、小中高と田主丸特別支援学校に通いました。

中学から毎年1日だけの体験があり、いろんな所に行かせていただきましたが、「ここは違う」と思う所が多く、「なかなかないなあ・・・」と思っていた矢先『愛らんど』に参加させてもらった時に「ここだ」と思える所が見つかり、このころから卒業後はここにと思つたので入れて安心しました。

うきは市在住なので片道1時間。そのまま帰り、また時間になったらお迎えに行く日々です。送迎がないので1日4時間かけての通所です。それでも行かせたい場所です。スタッフのきめ細かい対応には頭が下がる思いです。

いつでも笑顔満点の智成の成長と一緒に見ていただきたくので、これからも、よろしくお願い致します。

(智成の父)



こぐまLINE



生活支援員 やまなか 山中

皆様、こんにちは。私はベアックラブで生活支援員をさせて頂いております。山中と申します。

令和に変わるタイミングで神奈川県から終の住処がある福岡に戻り3年。福祉の仕事は子育てが落ち着いた40代に始めて22年になります。こぐま学園に入職する前は東京都八王子市で8年間高齢者の方を中心に地域の相談業務を行い、たくさんの人にお会いする機会がありました。

「一期一会」は私の大好きな言葉です。人の出会いは時に喜びや悲しみも生み出しますが、必ず人を成長させてくれる糧になると信じています。

「おはよう」と今日も元気に通つてくださるご利用者様の笑顔にふれるたび、たくさんのお愛情で支え包んで育まれたご家族の大きな存在を実感します。

これからもこぐま学園に通つてよかつたと思つて頂ける笑顔あふれる環境を作れますよう一日を大切に体力の許す限り精いっぱい頑張ります。もうすぐ5人の孫(全員男の子)のパワーと可愛い猫に癒されながら。

こぐまの園庭



ある日の出来事です。

こぐまのベランダで、教員の子どもたちと職員が真剣な様子で寝転がって靴箱の下を覗き込んでいました。たまたま出会ったカナヘビに興味を持って、こどもたちが夢中になつて追いかけていたのです。なんと微笑ましい姿でしょう。

こぐまの園庭は、いつも子どもたちの声が響き渡っています。ベランダには、雨でもあそべる屋根付きの砂場とトラップリン。外には、上りやすい階段が付いた滑り台。幼児用シートを付けたブランコ。低めのジャングルジム。どれも長く使い込まれており、子どもたちにとつて楽しい場所になっています。これにプラスして、自然に触れることができま

す。春は桜の花がきれいに咲いて、夏はセミの大合唱。子どもたちは網を持って捕まえに行きます。秋は銀杏の葉っぱが黄色く色づき、コオロギの声に癒されます。園庭の隅に飼っているウサギと触れ合うこともでき、その他にも、アリやバッタ、トンボ、ダンゴ虫等々、子どもたちの興味を引く生き物がたくさんいます。この園庭は、子どもたちが主体的に関わりワクワクする経験をしたり、日々新しい発見があったり、子どもたちにとつて楽しい経験を積み重ねることが出来るそんな場所になっています。

暑い季節がやってきました。子どもたちには、セミ捕りや虫探し、水あそびと新型コロナや熱中症に気を付けて楽しんで夏を過ごしてほしいと思つています。

(ゆう園長 林智香子)





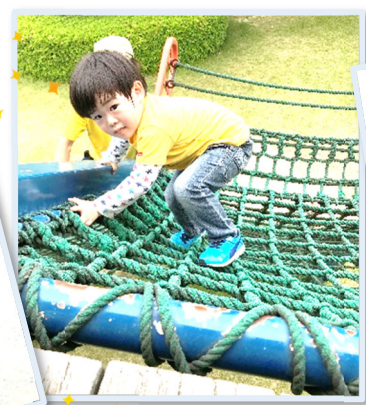
### 遠足に行ってきました！

5月19日(木)、5月20日(金)にゆうふれあい遠足に行ってきました。コロナウイルス感染症の影響で、2年振りの実施となった遠足。毎年恒例だった筑前町「夜須高原自然の森」に、行ってきました。

お友だちやお母さん、スタッフと一緒に巨大なアスレチック(恐竜ヤスゴン)に、一生懸命登ってローラー滑り台を滑って楽しみました。頂上まで登り切って、滑り台をとびっきりの笑顔で滑る子どもたち、初めての大きな滑り台にちょっぴりドキドキした子どもたち、様々な表情が見られました。

そして、お昼には、子どもたちが楽しみにしていた保護者の方手作りのお弁当。好きなごはんやおかずがたくさん入った弁当箱のフタを開いた瞬間から笑顔が見られていました。大きなお口を開けて喜んで食べていました。

感染症拡大防止の為、2グループに分けての開催、毎年楽しみだったバスの利用も各家族自家用車での現地集合、各親子間で間隔をとっての昼食等、たくさんのご協力ありがとうございました。おかげで今年度初めての行事で、楽しい思い出ができた遠足となりました。(保育士 末永)



### 小郡まごころマルシェ

6月25日(土)イオン小郡店内で開催された、小郡市内障害者事業所による『小郡まごころマルシェ』に、こぐま福祉会から就労支援B型事業所 Seien Home が参加しました。

就労活動の中で生産・製作しているこぐまクッキー、アクセサリーや苔玉等を販売しました。また、今年は桃農家さんのご厚意により、桃狩りで収穫した桃の販売もしました。

今回は利用者さん3名も職員と一緒に接客・販売をしました。最初はいつもと違う環境で緊張もみられましたが、自分たちが関わった商品が売れ始め慌ただしくなると、次第に緊張もほぐれ自然に「いらっしやいませ」と声が出て接客も慣れてきました。

また、他の事業所さんの商品を見て情報交換することができ職員同様、利用者さんも今後活動する中で良い刺激を受けたのではないかと思います。

(職業指導員 末安)



### こぐま学園40周年記念

令和4年度はこぐま福祉会40周年創立記念 year です。利用者の皆さまからお寄せいただいたメッセージを集めた「記念パネル」が完成しました。ロビーに展示予定です。



40周年を記念して「記念誌」と「記念グッズ」の作成を進めております。記念誌については、ロビーで閲覧できるようにいたしますので、ぜひご覧ください。

記念グッズについては、40周年記念ロゴの入ったキーホルダーやTシャツなどを製作中です。購入金額の一部をこぐま学園にご寄附いただける寄附金付グッズも準備中です。

近日中にロビーにて販売しますのでお楽しみに！

(40周年記念委員 宇野)





### 熱中症は予防が大事!

今年も熱中症に気をつけなければならぬ季節がやってきました。

### 熱中症とは?

高温多湿な環境に長時間いることで、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく、室内でも何もしないときでも発症することがあります。  
症状…めまい、頭痛、だるさ、手足がふる、高温 体温 など

### 熱中症にならないために…

- ①暑さを避ける!  
・《室内》エアコン・扇風機を使用し、室温28℃以上にならないようにする。遮光カーテンやすだれで直射日光を避ける。
- ・《屋外》日傘や帽子を着用する。日陰で、こまめに休憩をとる。
- ②体の蓄熱を避ける!  
・通気性のよい、吸湿性・速乾性のある衣服を着用する。
- ・保冷剤、氷、冷たいタオル等で、体を冷やす。(両側の首筋やわき、足の付け根等の大きな血管が走っている部位を冷やすと効果的)
- ・屋外で人と十分な距離(2m以上)を確保できる場合は、マスクを外す。
- ③こまめに水分を補給する!  
室内でも、屋外でも、のどの渇き

を感じなくてもこまめに意識する。水・お茶だけでなく、塩飴やスポーツドリンク、経口補水液等、汗で失われた塩分も補給するとより効果的

### ④睡眠と食事と運動

- ・前日…十分な睡眠をとる
- ・当日…朝食・水分をしっかりとる
- ・適度な運動で体力づくり

### 熱中症が疑われたら…

- ①涼しい場所へ避難
  - ②体を冷やす
  - ③水分補給
- ※自力で水が飲めない、意識がない場合は、すぐに救急車を呼びましょう。

当園利用の際に、保冷剤が必要になったり、具合が悪くなったりした時は遠慮なくスタッフに声をかけてください。毎日元気に過ごし、暑い夏をみんなで乗り越えましょう!  
(看護師 井上)

### 特別支援学校見学の報告

年長児の保護者の方を対象に、太宰府特別支援学校及び小郡特別支援学校の見学会を6月、7月に行いました。今年度もたくさん保護者の方に参加していただきました。

見学会では、担当の先生より学校の教育方針や概要を伺った後、授業風景や施設を見学しました。実際に学校へ出向いて、校舎や教室等の環境面や授業風景、生徒さん方の普段の様子を見ることで、就学後のイメージがつきやすくなりました。今後も、この見学会が就学先を検討する材料のひとつになれば幸いです。

また、見学会を開催するにあたり保護者の方には人数制限等にご協力いただきありがとうございました。  
(相談員 荒巻)

### 職員研修報告

6月30日(木)、こぐま学園職員全体による研修を行いました。

前半は防災として、熊本地震で体験した「震度5強」を想定し、実際の動きを地震訓練として行いました。

後半は、私たち福祉の職員としては欠かせない「虐待防止研修」を行い、「人権とは」など基礎的な部分を含めた研修内容となりました。

今後も、より良い支援に繋がるよう研修を行っていきます。

(職員研修委員 宇野)

### 入退職者の報告

#### 入職者紹介

たからべ 財部 美紗 (調理員) 6月

#### 退職者の報告

薄衣 江莉子 (就労支援員) 4月  
長 智祥 (作業療法士) 6月

ありがとうございました

### 行事予定

8月 13日(土) ~ 15日(月) 夏季休暇のため休園 避難訓練

9月 18日(木) 避難訓練

1日(木) ゆうデイキャンプ

2日(金) はぐ・しろくま デイキャンプ

6日(火) 避難訓練

10月 8日(土) はぐ・しろくま運動会

9日(日) ゆう運動会

12日(水) 避難訓練

コロナウイルス感染症のため、今年度におきましても「こぐま福祉会 夏祭り」は中止とさせて頂きます。また、各行事に関しましても、コロナウイルス感染症の感染状況において変更・中止する場合があります。ご了承下さい。